

学びのドリームプラン

第6学年 国語科

単元名： 投書の書き方をマスターしよう
「新聞の投書を読み比べよう」

指導者 渡邊 圭

児童の願い

今まで学習してきたことや投書の書き方を活用しながら自分の意見を伝えたい。



ゴール

書き方を工夫して、自分の意見を友だちに伝えることができる。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・進んで様々な投書を読み、読み手を説得することができる投書を書くことに取り組もうとしている。	・読み手を説得することができる投書を書くことに取り組もうとしている。
【思考力】	・自分の考えを明確にするために必要な読み手を説得するための工夫について投書を読み比べ、自分にとって最も適切な情報について考えている。 ・複数の情報の客観性をふまえて、読み手を説得するために、自分の考えとその理由付けや根拠の構成を考えている。	・自分の考えを明確にするために必要な読み手を説得するための工夫について投書を読み比べている。 ・複数の情報を用いて、読み手を説得するために、自分の考えとその理由付けや根拠の構成を考えている。
【自己理解】	・より多くの人に自分の考えを理解してもらうために必要な工夫や価値に気付き、今後の生活に生かそうとしている。	・より多くの人に自分の考えを理解してもらうために必要な工夫や価値に気付いている。

本単元で付けたい力

- ・事実と感想、意見等の関係を押さえ、自分の考えを明確にするための工夫を読み取ることができ
- 【読むこと ウ】

単元を貫く言語活動

新聞の投書を読み比べて学んだ説得の工夫などを使って、読み手に自分の考えが伝わるように投書を書く。

「課題発見・解決学習」の過程(全11時間)

学 習 活 動	育成したい 資質・能力	
課題の設定(2) ○新聞投書から、投書の大まかな内容をつかみ、ゴールの見通しをもつ。 ・投書の書き方や説得の工夫を使って、新聞投書に対する意見を書き、学年の友だち同士で意見を交流するという学習活動のイメージをもつ。	新聞投書の並行読書・根拠となる事実の収集	主体性
○単元で付けたい力について考え、学習計画を立てる。 ・学習のゴールに向けて本単元で付けたい力やそのためにどのような学習活動を行うかを考える。		主体性
情報の収集(3) ○新聞投書を読み比べ、共通点や相違点を比較させる。 ・説明文などの既習の学習と関連させて、文章の構成の工夫に着目する。	新聞投書の並行読書・根拠となる事実の収集	思考力
○新聞投書を読み比べ、それぞれの投書について筆者の主張を捉え、構成や説得の工夫を「投書の書き方のポイント」にまとめる。 【構成表 話題提示、筆者の意見、理由となる事実、反対の意見の分類】 ・事実と筆者の主張を区別しながら、新聞投書の構成について考える。 ・筆者の主張に説得力をもたせるための構成の工夫について考える。		思考力

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>○新聞投書の事実を読み比べ、筆者の説得の工夫を考える。</p> <p>・新聞投書を読み比べ、構成表をもとに読み手を説得するための理由付けの仕方、根拠の挙げ方の工夫を見付け、表に整理しながら工夫の良さを考える。【本時】 【構成表、表】</p>	思考力
<p>整理・分析（３）</p> <p>○新聞投書に対する自分の主張や根拠をまとめることができる。</p> <p>・読み比べた投書の内容や、自分が収集してきた新聞投書をもとに、自分の主張や説得力をもたせる根拠を構成表に整理する。【構成表】</p>	思考力
<p>○文章全体の構成を考えて下書きを書く。</p> <p>・読み手に自分の主張を理解してもらうためにより説得力のある論の進め方や、字数などを確かめ、投書を書く。【構成表】</p>	
<p>○下書きを推敲する。</p> <p>・友だちの助言をもとに、書いた投書を読み直し、推敲する。</p>	
<p>まとめ・創造・表現（１）</p> <p>○下書きを清書する。</p> <p>・投書を清書し、仕上げる。</p>	
<p>振り返り（２）</p> <p>○完成した投書を交流し合い、学習の振り返りを行う。</p> <p>・投書を読み合い、自分と友だちのものの見方や考え方の違いを知り、作品を評価する。</p>	自己理解
<p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <p>・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや投書を基に自らの学びを振り返る。</p>	自己理解